

高知健康科学大学

健康科学部 リハビリテーション学科

理学療法学専攻・作業療法学専攻

教育・研究業績報告

<2024 年>

(2024 年 1～3 月は前身校 土佐リハビリテーションカレッジ)

1. 書籍

- 1) 桂 雅俊：「MTDLP を活用した作業療法参加型臨床実習実例集」．日本作業療法士協会（2024 年 3 月）

2. 学術論文

- 1) 岡部孝生：今さら聞けない基本の理学療法 ～触察と触診～．高知県理学療法 31：15-16，2024．3 月
- 2) 渡邊家泰，安村広之，高芝 潤，近藤 寛，稲富惇一，竹林秀晃：回復期脳卒中片麻痺患者における異常歩容の経過．高知県理学療法 31：47-52，2024．3 月
- 3) 奥田教宏，山岡愛理，竹林秀晃，渡邊家泰，近藤 寛，岡部孝生，宮本祥子，井上佳和，宮本謙三，大迫洋治：ストレス画像における疼痛閾値と情動の変化．四国理学療法士学会誌 45：73-74，2024 年 4 月
- 4) 池本祐貴，木下裕矢，小笠原圭吾，志賀 舞，竹林秀晃：高齢者における相対的な立ち上がりパワーと，移動能力の関連性－移動制限を判別するカットオフ値の算出－．四国理学療法士学会誌 45：113-114，2024 年 4 月
- 5) Ryouhei Ishii, Scott Alan Smith, Ryoichiro Iwanaga, Jing Xiang, Leonides Canuet, Hideki Miyaguchi, Hiroyuki Inadomi: Translational research of occupational therapy and neuro- rehabilitation. Frontiers. Human Neuroscience 18, 2024, June. DOI: <https://doi.org/10.3389/fnhum.2024.1432073>
- 6) Masanori Yasunaga, Hideki Miyaguchi, Chinami Ishizuki, Yosuke Kita, Akio Nakai: Association between Motor Skills, Occupational Performance, and Mental Health in Japanese Children with Neurodevelopmental Disorders: A Cross-Sectional Correlational Study. Children 11 899 2024, July
- 7) 谷口敬道，矢谷令子，福田恵美子，大熊 明，岡村太郎，徳永千尋，宮口英樹，宮本直也：保健医療系大学（作業療法学専攻）の学士課程における教養の教育実践を目指すカリキュラム構造試案．大学教育学会誌 46：184-192．2024 年 6 月
- 7) 壬生 彰，田中 創，濱 澤，大社吉晃，山城由季，村上剛史，今井亮太，西上智彦，川村 博文：人工膝関節全置換術 1 ヶ月後における滑膜炎と疼痛の関連性－超音波 Power Doppler を用いた滑膜炎の定量化－．物理療法科学 31 (1)：66-73，202 年 8 月．DOI: <https://doi.org/10.57337/jjeapt.2024-001>
- 8) Koji Takimoto , Hideaki Takebayashi, Yoshiyuki Yoshikawa, Hiromi Sasano, Soma Tsujishita, Koji Ikeda: Association between Motoric Cognitive Risk Syndrome and Indicators of Reflecting Independent Living among Community-Dwelling Older Adults in Japan: A Cross-Sectional Study. Healthcare 12(18) 1808-1808, 2024, September. DOI: <https://doi.org/10.3390/healthcare12181808>.
- 9) Taniguchi M, Murata Y, Yamaguchi M, Kaba H: Activation of arginine vasopressin receptor 1a reduces inhibitory synaptic currents at reciprocal synapses in the mouse accessory olfactory bulb. Frontiers in Cellular Neuroscience, 18, article 1466817, 2024, September. DOI: <https://doi.org/10.3389/>

2. 学会発表

- 1) 近藤 寛、竹林秀晃、奥田教宏、渡邊家泰、岡部孝生、宮本祥子、井上佳和、宅間 豊、宮本謙三：本校における地域高齢者に対するフレイル予防の取り組み。第9回四国オープンイノベーションワークショップ（香川県，2024年3月4日）
- 2) 渡邊家泰，安村広之，高芝 潤，近藤 寛，稲富惇一，竹林秀晃：脳卒中患者の歩行障害に対する取り組み－学校と臨床現場の連携－。第9回四国オープンイノベーションワークショップ（香川県，2024年3月4日）
- 3) 稲富惇一，桂 雅俊，渡邊家泰，近藤 寛，石本恵理，竹林秀晃：新たな運動教室のカタチー公立図書館との共催事業－。第9回四国オープンイノベーションワークショップ（香川県，2024年3月4日）
- 4) 近藤 寛，竹林秀晃，奥田教宏，渡邊家泰，岡部孝生，宮本祥子，井上佳和，宅間 豊，宮本謙三：地域在住後期 高齢者の生活空間と体組成・身体機能・睡眠の関係。第37回高知県理学療法学会（高知県，2024年3月24日）
- 5) 池本祐貴，木下裕矢，小笠原圭吾，笹岡正弘，志賀 舞，竹林 秀晃：高齢者施設において歩行自立を予測する説明可能な機械学習モデル－SHAP 値を用いた検討－。第37回高知県理学療法学会（高知県，2024年3月24日）
- 6) 田村 洋子，稲富惇一：通所介護における認知症者の BPSD に対する小集団作業療法の効果－統制群と比較して－。第44回近畿作業療法学会（大阪府，2024年6月29日，30日）
- 7) 竹林秀晃，渡邊家泰，近藤 寛，奥田教宏，井上佳和，宅間 豊，宮本謙三：高齢者のタイミング一致課題の特性と転倒との関係。第92回日本体力医学会中国・四国地方会（広島県，2024年6月29日，30日）
- 8) 滝本幸治，池田耕二，笹野弘美，竹林秀晃：Motoric Cognitive Risk が地域在住高齢者の健康および社会生活に及ぼす影響。第3回日本老年療学会学術集会（北海道，2024年8月3日，4日）
- 9) 桂 雅俊，萩原賢二，北村優成，石川伶人，坂本和弥：フレイルサポーター主体の一般介護予防事業「ハツラツ」の取り組み－高知県大豊町における実践報告－。第33回四国作業療法学会（香川県，2024年6月8日，9日）
- 10) 畑田早苗，河野 誠，竹上寿彦，柏原謙造，澤田 健：統合失調症患者の語りの効果についての検討。第33回四国作業療法学会（香川県，2024年6月8日，9日）
- 11) 萩原賢二，畑田早苗，加賀野井聖児，石丸真由美，宇田千代：統合失調者の転倒と足底感覚の関係性。第33回四国作業療法学会（香川県，2024年6月8日，9日）
- 12) 細川かおり，篠崎加恵，篠田かおり，片岡聡子，小林隆司：放課後児童クラブ（学童）と小学校の連携による OT コンサルテーションの効果－簡易目標達成スケーリング（GAS-Light）を用いた3事例への介入－。第33回四国作業療法学会（香川県，2024年6月8日，9日）
- 13) 小松成輝，沖 未栄，倉持裕之，稲富惇一，箭野豊：脳卒中後の肩関節の痛みに対するアプローチ－生活行為向上マネジメントを活用した合意目標と治療介入により，日常生活活動に改善が見られた症例－。第33回四国作業療法学会（香川県，2024年6月8日，9日）
- 13) 稲富惇一：嗅覚刺激を用いた未熟児乳幼児の吸啜反応と栄養状態の改善を図る－予備的研究－。超異分野学会 2024 大阪関西大会（大阪府，2024年8月31日）
- 14) 稲富惇一：Exergaming が子どものコミュニケーションおよび社会交流技能に及ぼす影響について。日

本特殊教育学会 第 62 回大会（福岡県，2024 年 9 月 6 日～8 日）

- 15) 岡林雅樹，安村広之，渡邊家泰，高芝 潤，森岡 周：BWSTT 介入時の橋梗塞後片麻痺患者に対する FES の付与効果．第 22 回日本神経理学療法学会（福岡県，2024 年 9 月 28 日，29 日）
- 16) 渡邊家泰，片岡聖七，竹林秀晃，岡部孝生，榎 勇人，宮本祥子：高知県内の市民ランナーにおける体力の要因分析－スポーツで高知県民をこじゃんと元気に！－．第 6 回高知スポーツサミット（高知県，2024 年 11 月 8 日）
- 17) Hideki Miyaguchi, Chinami Ishizuki, Ryohei Kishita: Effectiveness of a program aimed at transitioning to employment in prisons for people with borderline intelligence functioning (BIF). The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC) 2024 (Sapporo, Japan, November 6-9, 2024)
- 18) Satoko Kataoka, Hiroshi Fukuda, Chinami Ishizuki, Hideki Miyaguchi: Listening in low signal-to-noise ratios increases cognitive load in healthy young adults with listening disabilities and their performance is unstable. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC) 2024 (Sapporo, Japan, November 6-9, 2024)
- 19) Junichi Inatomi, Masatoshi Katura, Ieyasu Watanabe, Hideaki Takebayashi, Yutaka Takuma, Kenzo Miyamoto, Satoko Kataoka: Frailty and dementia prevention classes at libraries improve activity for elderly. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC) 2024 (Sapporo, Japan, November 6-9, 2024)
- 20) Moe Iwai, Satoko Kataoka, Nobuyuki Iwai, Koji Maeda, Junichi Inatomi: Cognitive Orientation to daily Occupational Performance and traffic rule coaching are important in the acquisition of bicycling for children with developmental coordination disorder. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC) 2024 (Sapporo, Japan, November 6-9, 2024)
- 21) Ayaka Mori, Fumiya Tokaji, Satoko Kataoka, Junichi Inatomi: Multidisciplinary collaborative approach using MTDLP to envision the acquisition of toilet activities after discharge to home. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC) 2024 (Sapporo, Japan, November 6-9, 2024)
- 22) 石川伶人，杉本 徹，坂本和弥，稲富惇一：弱視片麻痺患者が食事自立に至った経緯－利き手交換が必要であった症例－．第 58 回日本作業療法学会（北海道，2024 年 11 月 9 日，10 日）
- 23) 小松成輝，倉持裕之，稲富惇一，箭野 豊：早期退院後の復職と余暇活動を想定した意味のある作業活動の効果．第 58 回日本作業療法学会（北海道，2024 年 11 月 9 日，10 日）
- 24) 北村優成，福田裕美子，岡林美由紀，稲富惇一：課題分析を児童と一緒にを行い目標達成に至った一例－発達性協調運動症児の縄跳び獲得を通して－．第 58 回日本作業療法学会（北海道，2024 年 11 月 9 日，10 日）
- 25) 岩井 萌，稲富惇一：発達性協調運動症児の短縄跳び動作獲得を目指して－ホームプログラムを主軸にのいた作業療法介入－．第 58 回日本作業療法学会（北海道，2024 年 11 月 9 日，10 日）
- 26) 濱田佳実，山本成子，倉持裕之，稲富惇一：その人らしく生活できるために生活行為向上マネジメンを用いた関わり－重度脳卒中片麻痺者の役割獲得を目指して－．第 58 回日本作業療法学会（北海道，2024 年 11 月 9 日，10 日）
- 27) 池本祐貴，木下裕矢，小笠原圭吾，笹岡正弘，志賀 舞，竹林 秀晃：歩行速度と起立パワーは施設内歩行自立の予測に寄与する－可視化した機械学習モデルと複合変数の検討－．第 11 回本予防理学療法学

会学術大会（宮城県，2024 年 11 月 9 日，10 日）＊セクション演題

- 28) 近藤 寛，竹林秀晃，榎 勇人，川村博文，滝本幸治，奥田教宏，渡邊家泰：地域高齢者に対する異なる二重課題歩行と軽度認知障害の関係．第 11 回日本地域理学療法学会学術大会（大阪府，2024 年 11 月 16 日，17 日）
- 29) 竹林秀晃，滝本幸治，渡邊家泰，稲富惇一，近藤 寛，奥田教宏，岡部孝生，宮本謙三，繁桝博昭：VR 環境での手のサイズ変動が身体認識と運動調節に与える影響．第 93 回日本体力医学会中国・四国地方会（徳島県，2024 年 11 月 16 日，17 日）
- 30) 竹林秀晃，武政穂乃実，奥田教宏，近藤 寛，渡邊家泰，稲富惇一，榎 勇人，川村 博文，滝本幸治，池本祐貴：速度変化条件におけるタイミング一致課題の特性－静的・動的課題との比較－．第 52 回四国理学療法士学会（愛媛県，2024 年 11 月 23 日，24 日）
- 31) 榎 勇人，芥川知彰，石田健司，竹林秀晃，奥田教宏，近藤 寛，渡邊家泰：高齢者における床反力鉛直成分の 2 峰性の有無が 2 年後の脊柱角度や歩行の変化に及ぼす影響について．第 52 回四国理学療法士学会（愛媛県，2024 年 11 月 23 日，24 日）
- 32) 奥田教宏，中村実夢，竹林秀晃，渡邊家泰，近藤 寛，川村博文，榎 勇人，大迫洋治：動機付けの違いによる疼痛閾値の変化．第 52 回四国理学療法士学会（愛媛県，2024 年 11 月 23 日，24 日）
- 33) 近藤葉平，榎 勇人，石川 淳：うつ状態の有無と歩行自己観察後の意欲や歩行速度の変化－情動面と自己評価との関連性に着目して－．第 52 回四国理学療法士学会（愛媛県，2024 年 11 月 23 日，24 日）
- 34) 池本祐貴，木下裕矢，小笠原圭吾，笹岡正弘，志賀 舞，竹林秀晃：最大歩行速度は歩行予備能よりも過大評価バイアスを回避して高齢者の施設内歩行自立を予測する－立ち上がりパワーと組み合わせたブートストラップ・ロジスティック回帰分析の検討－．第 52 回四国理学療法士学会（愛媛県，2024 年 11 月 23 日，24 日）

3. 招待講演・シンポジウム・研修会

- 1) 岡部孝生：前田クリニック 院内研修会「頭頸部の体表解剖セミナー」（兵庫県，2024 年 1 月 6 日，7 日）
「手関節周囲の体表解剖セミナー」（兵庫県，2024 年 2 月 10 日，11 日）
「股関節周囲の体表解剖セミナー」（兵庫県，2024 年 3 月 16 日，17 日）
「体表解剖の臨床応用」（兵庫県，2024 年 8 月 3 日，4 日）
- 2) 渡邊家泰：高知県幡多区域ブロック研修会「脳卒中片麻痺患者の下肢装具の利活用－複数施設の症例提示－」（令和 6 年高知県理学療法士協会，2024 年 1 月 22 日）
- 3) 渡邊家泰：令和 6 年 近森リハビリテーション病院 PT 科新人研修会：3 テーマ「起居動作の基本と実践」「歩行分析の基本と実践」「FES の基本と実践」高知健康科学大学（2024 年 6 月，8 月）
- 4) 宮口英樹：記念講演「Well being 再考－健康科学の研究者が病気になって気づいた幸福について－」．エンドオブライフケア高知「地域交流のつどい」開校記念講演（高知県，2024 年 6 月 19 日）
- 5) 宮口英樹：特別講演 司法における作業療法の可能性と未来～医療観察対象者・矯正施設出所者等の地域生活支援に向けて～．九州作業療法学会 2024 in 大分（大分県，2024 年 6 月 22 日）
- 6) 榎 勇人：研修会講師「歩行の基礎と高齢者の歩行特性」土佐リハビリテーションカレッジ同窓会「未来会」定期研修会（本学，令和 6 年 6 月 22 日）
- 7) 稲富惇一：研修会講師「先行研究から学ぶ適切な感覚入力の用い方－対象者により良い作業療法・理学療法を提供するために－」土佐リハビリテーションカレッジ同窓会「未来会」定期研修会．（本学，2024 年 6 月 22 日）

- 8) 宮口英樹：シンポジウム 司法における作業療法 「司法における作業療法の変遷と未来」．第 44 回近畿作業療法学会（大阪府，2024 年 6 月 29 日～30 日）
- 9) 宮口英樹：令和 6 年能登半島地震復興支援チャリティーシンポジウム 災害支援とリスクコミュニケーション「安全だけど安心できない？生活におけるリスクコミュニケーション」．第 44 回近畿作業療法学会（大阪府，2024 年 6 月 29 日，30 日）
- 10) 桂 雅俊：招待講演「地域包括ケアシステムにおいて作業療法士に求められること」．（公社）愛媛県作業療法士会地域局 地域包括ケアシステム基礎研修会（Web：2024 年 8 月 4 日）
- 11) 奥田教宏：「腰痛」．高知県子ども・福祉政策部長寿社会課主催 オンライン介護予防講義（高知県，2024 年 8 月 23 日）
- 12) 箭野 豊：嗅覚シンポジウム「匂いの認知と行動の新たな展開」．日本味と匂学会第 58 回大会（岡山県，2024 年 9 月 11 日～13 日）
- 13) 片岡聡子：第 6 回コプラサロン「これからの時代を生きるためのワークライフバランス」．高知県産学官民連携協議会（高知県，2024 年 10 月 15 日）
- 14) 宮口幸治，石附智奈美，宮口英樹：自主シンポジウム「就労移行準備指導プログラムの開発と学校教育への応用ー認知機能強化トレーニングの新たな可能性に向けてー」．日本 LD 学会第 33 回大会（兵庫県，2024 年 10 月 19 日）
- 15) 岡部孝生：「転倒予防について」．地域公開講座「室戸健康大学」（高知県，2024 年 11 月 17 日）
- 16) 片岡聡子：令和 6 年度第 48 回高知県高等学校生徒保健委員研修会「コグトレで学習の土台を強化！」（高知県，2024 年 11 月 20 日）
- 17) 近藤 寛：シンポジウム「高知県における糖尿病ケアの現状と課題」④「糖尿病患者におけるサルコペニアとリハビリテーション」．第 49 回高知糖尿病チーム医療研修会（高知県，2024 年 11 月 24 日）
- 18) 稲富惇一：高知観光コンベンション協会主催研修会「車椅子利用者がタクシーを利用する際に必要なサポートや接し方のご紹介および車椅子の扱い方について」（高知県，2024 年 11 月 29 日，12 月 5 日，12 月 10 日）
- 19) 桂 雅俊：招待講演「養成校における MTDLP 教育の実践」．九州作業療法士会長会主催（Web：2024 年 12 月 11 日）
- 20) 宮口英樹：教育講演「生きづらさを抱える子どもたちへの社会適応支援における課題と可能性ーコグトレから森田療法までー」．第 41 回日本森田療法学会（高知県，2024 年 12 月 7 日，8 日）
- 21) 近藤 寛：がんのリハビリテーション．がん医療における支持療法を担う地域がん専門医療人育成コース「がん薬物療法における支持療法と緩和ケア（インテンシブコース）」．（高知県，2024 年 12 月 21 日）
- 22) 片岡聡子：高知大学男女共同参画推進室 ウェルビーイング講演会「大学生のスタディライフバランスとウェルビーイングを考える」．（高知県，2024 年 12 月 24 日）

4. 座長・司会，学会運営

- 1) 竹林秀晃：学会長，奥田教宏：準備委員長．第 37 回高知県理学療法学会（高知県，2024 年 3 月 24 日）
- 2) 竹林秀晃：司会．特別講演Ⅰ「未来への舵取り ～2040 年の理学療法～」講師 森岡 周．第 37 回高知県理学療法学会（高知県，2024 年 3 月 24 日）
- 3) 奥田教宏：司会．特別講演Ⅱ「身体と空間知覚」講師 繁樹博昭．第 37 回高知県理学療法学会（高知県，2024 年 3 月 24 日）
- 4) 桂 雅俊：「MTDLP 教育を理解する教員研修 MTDLP 講義・演習の実践」；MTDLP を活用した学内教

育と臨床実習での取り組み」. (一社) 日本作業療法士協会 (Web : 2024 年 7 月 28 日)

- 5) 奥田教宏：座長 一般演題 人工股関節 . 第 12 回日本運動器理学療法学会学術大会 (神奈川県, 2024 年 9 月 14 日, 15 日)
- 6) 竹林秀晃：座長 脳損傷 測定・評価 1 . 日本神経理学療法学会学術大会 (福岡県, 2024 年 9 月 23 日, 24 日)
- 7) 桂 雅俊：司会「教員と実習指導者のための MTDLP 教育法」. (一社) 日本作業療法士協会 (Web : 2024 年 10 月 6 日)
- 8) Satoko Kataoka: Chairperson Oral presentation O2-5-3 Professional development. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress (APOTC) 2024 (Sapporo, Japan, November 6-9, 2024)
- 9) 渡邊家泰：一般演題 II・④ 生活環境支援 . 第 52 回四国理学療法士学会 (愛媛県, 2024 年 11 月 24 日)

5. 研究助成

1) 科学研究費基盤研究 C (令和 5 年度)

一般就労と福祉的支援の狭間にある少年院在院者へのシームレス認知プログラムの有効性
研究代表者：宮口英樹 共同研究者：石附智奈美, 宮口幸治, 吉川由縁・畝 優佳)

2) 科学研究費基盤研究 C (令和 5 年度)

リスク認知の 4 要素を網羅する医療介護専門職のためのリスク教育プログラムの開発
研究代表者：有久勝彦 共同研究者：宮口英樹、大浦智子、石附智奈美、木下亮平

3) 科学研究費基盤研究 C (令和 5 年度)

介護事故の解明と介護事故防止にむけた根拠に基づく介護安全システムの構築
研究代表者：大浦智子 共同研究者：宮口英樹、木下亮平、有久勝彦

4) 科学研究費基盤研究 C (令和 5 年度)

VR を用いた医療専門職の危険予知能力評価法の開発
研究代表者：木下亮平 共同研究者：宮口英樹、大浦智子、石附智奈美、有久勝彦

5) 科学研究費基盤研究 C (令和 5 年度)

一般就労と福祉的支援の狭間にある少年院在院者への微細運動調節 プログラムの有効性
研究代表者：石附智奈美 共同研究者：宮口英樹、宮口幸治、藤井浩美、飯田忠行、森田良文

6) 公益信託高知新聞・高知放送「生命 (いのち) の基金」(令和 5 年度)

助成テーマ：人生の生きがい感とメンタルヘルスとの関係
研究代表者：竹林秀晃

7) 公益信託高知新聞・高知放送「生命 (いのち) の基金」(令和 5 年度)

助成テーマ：肢体不自由児に対するデジタル機器を用いた運動教室
研究代表者：稲富惇一 共同研究者：竹林秀晃

8) 公益信託高知新聞・高知放送「生命 (いのち) の基金」(令和 5 年度)

助成テーマ：高知県内の市民ランナーの体力向上に関わる要因分析
研究代表者：渡邊家泰 共同研究者：竹林秀晃

9) 高知健康科学大学 研究助成事業 (令和 6 年度)

助成テーマ：VR による自己身体変容が運動制御・疼痛閾値に及ぼす影響
研究代表者：竹林秀晃 共同研究者：繁樹博昭, 奥田教宏, 稲富惇一

10) 高知健康科学大学 研究助成 (令和 6 年度)

助成テーマ：未来健康創造研究センター（研究棟）を活用した学校運動器検診への参入ースクールトレーナーとしての地域貢献及び検診項目である「しゃがみ込み動作」の客観的数値化の試み

研究代表者：榎 勇人

11) 高知健康科学大学 研究助成（令和 6 年度）

助成テーマ：「運動のイメージ想起による疼痛閾値の変化」に対する研究

研究代表者：奥田教宏 共同研究者：安岡裕生

12) 高知健康科学大学 研究助成（令和 6 年度）

助成テーマ：低出生体重児の吸啜反応向上を図る・嗅覚刺激を用いた予備的研究

研究代表者：稲富惇一 共同研究者：山口正洋

13) 高知健康科学大学 研究助成（令和 6 年度）

助成テーマ：市民ランナーと高校生アスリートランナーにおける体力の要因分析

研究代表者：渡邊家泰 共同研究者：竹林秀晃、宮本祥子、岡部孝生

6. 共同研究

- 1) 東京書籍株式会社，国立大学法人広島大学：学校における子どもたちへの認知機能の向上を目指した「コグトレオンライン」による取り組みモデルの構築．（2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）
- 2) 国立大学法人広島大学、県立広島大学、株式会社ダーツライブ、株式会社ワンエンタープライズ：ダーツのゲーム性を生かした Wellbeing の滋養の検証，子供におけるダーツゲームのゲーム性が認知機能および行動に与える影響（2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）（共同研究者：宮口英樹）
- 3) 株式会社デジリハ（2024 年 6 月 27 日～2025 年 6 月 26 日）（共同研究者：稲富惇一）
- 4) 奈良県吉野郡大淀町教育委員会：子どもの認知面を支援する教育環境整備．（共同研究者：宮口英樹）
- 5) 広島少年院：一般就労と福祉的支援の狭間にある少年院在院者へのシームレス認知プログラムの有効性（研究代表者：宮口英樹 共同研究者：石附智奈美，宮口幸治，吉川由縁，畝 優佳）

7. 教育・社会貢献事業

- 1) 日本作業療法士協会 倫理委員会主催 研修会「職場リーダー向け研修 ～職場における倫理問題の予防に向けて～」企画・運営・講師（2024 年 1 月）
- 2) 高知活動分析研究会勉強会開催（本学，2024 年 1 月，3 月，6 月，8 月，10 月，11 月）（片岡聡子）
- 3) 高知機能解剖勉強会，高知マニュアルセラピー研究会（本学，2024 年 1 月 18 日，7 月 18 日，9 月 19 日，11 月 21 日）（岡部孝生）
- 4) 運動器系体表解剖セクションセミナー24in 高知ー腰背部・殿部の障害評価・治療に必要な骨・骨格筋を中心にー 体表解剖学研究会（本学，2024 年 1 月 28 日）（岡部孝生）
- 5) 一般介護予防事業「短期集中型総合プログラム」助言・指導．高知県 大豊町（2024 年 1～12 月）（萩原賢二，桂 雅俊）
- 6) 香南市地域ケア会議 アドバイザー（2024 年 1 月、5～12 月）（萩原賢二）
- 7) 令和 6 年 愛媛県立新居浜東高等学校 陸上競技部 出張講義「スポーツ栄養と体のケアについて」．高知健康科学大学（愛媛県，2024 年 3 月）（渡邊家泰）
- 8) 寄稿 あなたにとって作業療法とは何ですか？作業療法ジャーナル 58 (3) pp. 213（2024 年 3 月）（片岡聡子）
- 9) 令和 6 年度 臨床実習指導者講習会 臨床実習指導方法論 講師．（一社）高知県作業療法士会（Web, 2024

年 3 月 16 日, 9 月 28 日) (畑田早苗, 片岡聡子) (Web, 2024 年 9 月 28 日) (箭野 豊)

- 10) 高知県専門家活用事業 (高知県立盲学校) (2024 年 3 月, 10 月) (片岡聡子)
- 11) 「認定理学療法士 臨床認定カリキュラム教育機関」認定. 日本理学療法士協会 (2024 年 4 月)
- 12) 「高知家地域共生社会推進宣言」参画. 高知県 子ども・福祉政策部 地域福祉政策課 (2024 年 4 月)
- 13) オーテピア健康増進イベント開催
「痛みのメカニズムと対処法を学ぶ」(高知県, 2024 年 5 月 25 日)
「知っている? とても便利な機械たち」(高知県, 2024 年 8 月 20 日)
- 14) アートプロジェクト「Seas and Ocean Wellbeing Arts Project-3 つの海と空をここで繋ぐアートプロジェクト-」. 高知健康科学大学 (本学, 2024 年 6 月)
- 15) 第 2 回 未来へ繋ぐ 学×地フェスタ参加. 学×地フェスタ実行委員会 (高知県, 2024 年 6 月 15 日, 16 日)
- 16) 高知健康科学大学附属地域連携支援センター共催事業「地域交流のつどい」開催. エンドオブライフケア高知 (本学, 2024 年 6 月, 7 月, 8 月, 9 月, 10 月, 11 月, 12 月)
- 17) 令和 6 年度高知機能解剖勉強会開催. 高知機能解剖勉強会 (本学, 2024 年 7 月, 9 月, 11 月) (岡部孝生)
- 18) 運動器系体表解剖セミナーB コース. 体表解剖学研究会 (兵庫県, 2024 年 7 月 20 日, 21 日, 8 月 24 日, 25 日, 9 月 21 日, 22 日) (岡部孝生)
- 19) 高知運動器エコーを学ぶ会開催. 高知運動器エコー研究会 (本学, 2024 年 7 月) (岡部孝生)
- 20) 高知市地域ケア会議 アドバイザー (2024 年 7 月, 11 月) (竹林秀晃)
- 21) 高知健康科学大学附属地域連携支援センター共催事業 「専門体力・パフォーマンス測定会」開催. 高知健康科学大学 (高知県, 2024 年 9 月~12 月) (渡邊家泰)
- 22) 高知健康科学大学開学記特別記念講演: テーマ「すべてのイノチにやさしい社会へ」映画監督・安藤桃子. 高知健康科学大学 (高知県, 2024 年 9 月 7 日)
- 23) 数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム連携校に承認. 文部科学省 (2024 年 8 月)
- 24) 香南市高齢者体力測定事業. 高知健康科学大学 (高知県, 2024 年 9 月 19 日)
- 25) 厚生労働省「スマート・ライフ・プロジェクト」に団体登録. スポーツ庁 (2024 年 9 月)
- 26) 部活応援プロジェクト: 高知工業高校剣道部. 高知健康科学大学 (高知県, 2024 年 9 月)
- 27) 令和 6 年度 高知県臨床実習指導者講習会 第 22 回講習会 講師. 高知県臨床実習指導者講習会運営協議会 (Web, 2024 年 9 月 28 日, 29 日) (井上佳和, 宮本祥子)
- 28) 日本作業療法士協会 倫理委員会主催 2024 年度 第 1 回倫理委員会勉強会「職場の倫理問題予防のための職場リーダーミーティング」企画・運営・講師 (2024 年 10 月) (片岡聡子)
- 29) 新木本町防災会・株式会社ケイウッドとの合同防災訓練. 高知健康科学大学 (本学, 2024 年 11 月 10 日)
- 30) 令和 6 年度 キャリア教育「轍」ハイスクールプラン推進事業 (職業講話) 講師, 高知県立高岡高等学校 (高知県, 2024 年 11 月 21 日) (箭野 豊)
- 31) 令和 6 年度「高知矯正展」出展. 高知刑務所 (高知県, 2024 年 12 月 7 日, 8 日)
- 32) 令和 6 年度 高知県理学療法士会第 1 回高幡区域ブロック 研修会 テーマ「登録理学療法士を取得する方法」講師 (高知県, 2024 年 12 月 11 日) (奥田教宏)
- 33) 令和 6 年度第 1 回運営推進会議 でいさあびすはっぴい大津 助言・指導 (2024 年 12 月 13 日) (萩原賢二)